

鳥居龍蔵、

埼玉県内を行く



国指定史跡「吉見百穴」の近影

1900(明治33)年11月19日、鳥居龍蔵は、埼玉県にて日帰り調査を行いました。この調査には、徳島出身の国学者である小杉楯郎(1835-1910)や、貴族院議員であった蜂須賀茂韶(元徳島藩主。1846-1918)・長岡護美(1842-1906)ら計8名も同行しました。鳥居は、史跡の吉見百穴(比企郡吉見町)を訪れるとともに、熊谷市の郷土史家である根岸武香(1839-1902)が収集した考古遺物を閲覧しました。

今回の展示では、長岡護美が、鳥居の埼玉県での調査に参加した時に、吉見百穴で詠んだ漢詩を初公開するとともに、鳥居らが訪れた見学地についても紹介します。

2026年

●展示期間 **3月24日[火] - 8月2日[日]**

●展示場所 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 常設展示室 第2展示室内

●開館時間 9:30 ~ 17:00

●休館日 毎週月曜日、5月7日[火]、7月21日[火]
ただし5月4日[月]、7月20日[月]は開館

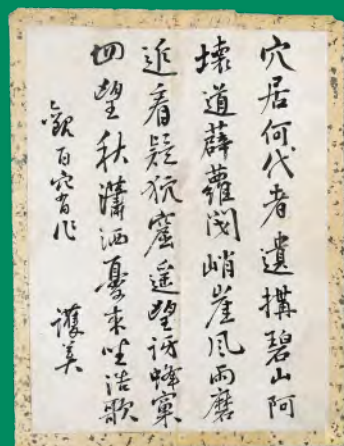
●観覧料 通常の常設展観覧料

(一般200円、高校・大学生100円、小・中学生50円)

※祝日・振替休日は、どなたも無料

※土・日曜日、冬休み及び春休み期間は高校生以下無料

※各種減免あり



長岡護美の漢詩

